

**平成 30 年度第 1 回学校評議員会を 5 月 22 日（火）10:00～12:00
一関清明支援学校本校舎図書室にて開催しました。**

平成 30 年度学校評議員名簿

氏 名	所 属	現住所	
この 金野 いくろう 育 朗	社会福祉法人室蓬会障がい者 福祉サービス事業所室蓬館施設長	一関市大東町	再任
ちだ 千田 みつひさ 光 久	元一関清明支援学校長 星槎大学共生科学部兼星槎大学大 学院教育学研究科 教授	奥州市胆沢区	再任
さとう 佐藤 しん や 伸 哉	一関市立赤荻小学校校長	一関市赤荻	再任
あいさわ 相澤 たかし 孝	沢内民区長	一関市山目	新任
ささき 佐々木 しずえ	本校PTA前副会長	一関市巖美町	再任

平成 3 0 年度第 1 回学校評議委員会記録

●【校長挨拶】はじめに授業を参観いただいた。学校経営に対して保護者、地域の協力を得ながら説明責任を果たし、地域に開かれた学校作りをしていく。学校経営を説明の中で理解していただき、本日は思っていることを出していただきたい。第 2 回学校評議委員会は 2 月、山目校舎で実施。1 年間の報告、学校評価アンケートを示しながらご意見をいただく。昨年創立 1 0 周年事業を 2 校舎 3 分教室で実施。祝う会を関係者、交流校にも声をかけ実施した。本校の果たす役割をはっきりとさせることができた。小学校、中学校で困ったときは相談していただきたい。作業製品は地域から高い評価をいただいた。

●【評議員及び職員紹介】欠席は 2 名（佐藤伸哉赤荻小学校校長、佐々木しずえ前 P T A 副会長）

●【協議・報告】

- 1 平成 3 0 年度学校経営計画について
- 2 平成 3 0 年度教育活動について
 - (1) 学部・分教室（パワーポイントで説明）
 - (2) 進路 8 名居住地就職。1 5 名福祉的就業、施設入所
 - (3) 相談支援 251 件、聴覚の入学前の子が学びに来ている。外部は例年通り。

※学校経営計画等の概要説明の一部抜粋資料を掲載します。

1 学校運営のテーマ 「学び」「つながり」「ひろがり」

- 「学び」・・・ 学校での学習が確かな基礎学力として身につけていること
幼児児童生徒が成長している姿を保護者に示すこと
- 「つながり」・・・ 学校での学びが生活の場で生かされていること
「心」の教育を充実すること
仲間づくり(横)と社会構造(縦)の経験を拡大すること
- 「ひろがり」・・・ 学校生活から地域での生活に広がっていくこと
充実した生涯教育へ広がっていくこと

2 本校の特徴と課題＝求められる力や取り組み

- (1) 教育対象の多様化：幼児児童生徒一人一人に対応する専門性の向上と指導力
- (2) 教育の場の多様化：2校舎3分教室を円滑に運営するチームワーク

3 本校を取り巻く情勢の変化（影響を与える変化）

- (1) 新しい学習指導要領の実施に向けた対応
- (2) 「インクルーシブ教育システム」の推進
- (3) 高等学校における特別支援教育の充実・通級による指導の制度化
- (4) 復興教育の推進・防災力の向上
- (5) 聴覚分野における関係機関との連携(医大、療育センター、保健センター等)
- (6) 分教室の教育環境と教育内容の整備(関係機関との連携)

4 平成30年度 学校経営の重点

- ※授業の最適化の追求 ○個性や能力を生かし、一人一人の着実な成長を後押しできる授業の追求(個別の指導計画の充実)○豊かな心を育む教育の推進 ○授業力、専門性の向上(ICT機器の活用)
- ※進路指導の充実 ○キャリア教育の充実○各学部に対応した進路学習の取組○進路研修会の充実
- ※連携と協働の強化 ○情報発信の工夫○関係機関への支援○地域資源の活用と企業との連携
- ※安全安心な環境づくり○お互いを認め尊重し合う意識の育成○復興教育の推進(防災教育充実)
○安全で安心な教育環境の整備

●質疑・応答

【千田評議員】質問① 学校経営計画の「5本校を取り巻く情勢の変化」の「(4)復興教育の具体的な取り組み」について。

【小原中学部長・応答】○消防署の指導もあり避難訓練を5回に増やした。スクールバス乗車中の訓練も実施している。校内では6月4日、防災教室として千厩中学部と同じ内容で日赤一関奉仕団が来校し防災かるた、避難所でできるボランティアとしておにぎり作りを体験する。校外学習でかけたときにアイポートで学習する。家庭との連携として家の中の危険箇所や避難所の確認を実施。みなトモが活動している高田松原を守る会にも参加している。小・中は3. 1 1桜並木ラインを一緒に取り組み、販売した益金を小学部は募金として届け見学している。ベルマーク活動で被災学校に寄付をしている。個人が学校に置いている防災袋の中身を確認している。

質問② 学校経営計画「学校経営の重点」(1)授業の最適化タブレットの状況について。

【鎌田高等部長・応答】○高等部は全員1台持っている(奨励費)。生活単元学習、教科学習で活用。管理は学校でおこない、卒業時にわたす。さまざまなアプリで活用している。

質問③ ロジヤーの導入について。

【新沼幼小学部部長・応答】○昨年度までFMを使用した機器を使用した但修理期間が終了した。今年度よりロジヤーを使用し校内の整備をおこなっている。マイクを導入し集団の中から優先的に話している人の声を拾うことができ話し合い活動に有効である。

質問④ 全ての学部の経営方針及び重点に交流及び共同学習があるのに中学部にだけないのはなぜか。

【小原中学部長・応答】○文言は使用していないが地域との交流に含んで考えている。交流及び共同学習を進めている。一関一高との陸上練習や花泉マラソンへの参加。また、一関二高太鼓道場部との交流や中文祭舞台発表や見学を実施している。

質問⑤ 高等部生徒の進路はいい状況であるが連携企業の就職はあるか、現場実習に連携企業は入っているか。

【宍戸進路指導部長・応答】○一般就労8名中、連携企業1名、企業連携の実習企業のうち5企業で現場実習をしている。

【金野評議員】 **質問①計画を立てるプロセス、時期、いじめ対策をおしえてほしい。**

【稲邊校長・応答】○学部学校の反省を12月に実施。運営委員会での反省を受けて2月頃、目標や目指すべき学校像ができる。これを基に各学部で目標を立てている。いじめに対しては国の基本方針が変わり県も変わった。学校もこれを受けて「学校いじめ基本方針」を定めている。

【学校評議員からのご提言】

★【金野評議員】★授業の様子を拝見した。感想は立位の保持ができる移動機器を体調を見ながら取りいれているのがすばらしい。学部のパワーポイントを見て建屋が違うのに驚いた。清明の卒業生から得意なものは何かを聞かれた。この人はここが自分の優れたところだと伝えられた。自分の事を理解している。言葉に表す力が教育の場で培われている。

★【千田評議員】★事前の資料配付、パワーポイントでの説明が良かった。勉強になった。新学習指導要領のカリキュラムマネジメントを具体的にどのように進めていくのか校長のリーダーシップを期待している。

★【相澤評議員】★それぞれの学部できめ細かな指導がされている。学校、地域の交流は、赤荻小学校は生徒数が少ない。こういったところと交流を進めていけばよい。

●【校長お礼のことば】

3人のみなさま、ありがとうございました。本校は2校舎3分教室で学びの場がたくさんあります。課題ではなく特色であると考えています。この環境を強みとして実践していきます。学校教育目標は年度末に、小さな課題はその都度改善するなど適切に対応したい。

先日開催した、校務運営委員会で、学部運営の課題を出してもらった。課題意識を持ち学部運営をしていく。ICTは県の促進事業の予算はなくなったが情報部で主体的に組織を作り動いている。今年度もしっかりと学校運営に努めたい。